

デジタル技術で進化する“白いつめものの治療”

—低侵襲・審美・効率を実現し社会実装—

<報道概要>

大学院医歯薬学研究部歯学域口腔科学部門歯科保存学分野保坂啓一教授らの研究グループは、デジタル技術を応用した“白いつめものの接着治療”の臨床応用を、令和7年8月に国際誌へ発表しました。本技術は、歯を削る量を最小限に抑え、自然な見た目と機能を再現できる低侵襲の治療法です。

現在、徳島大学病院歯科にて臨床研究を実施しており、患者参加による実証が進められています。低侵襲で審美的な歯科治療を世界に広めることで、健康寿命の延伸と国際的な歯科医療の発展に寄与することが期待されます。

徳島大学保坂啓一教授らが、デジタル技術を応用した“白いつめものの接着治療（コンポジットレジン修復）”に関する臨床応用を国際誌に発表しました。本研究グループは、これまでも本治療法に関する成果を国際誌で継続的に発表しており、令和7年8月に、2年間の経過観察に基づく症例報告を『The Journal of Adhesive Dentistry』に掲載しました（直近論文：Utsumi Y, Hosaka K et al. Resin composite injection technique with a digital workflow to reconstruct canine guidance: a two-year follow-up. J Adhes Dent. 2025 Aug 18;27:155-61）。

本技術により、歯を削る量を最小限に抑え、自然な見た目と機能を再現できる低侵襲の治療が可能になります。また、顔面及び口腔内スキャン、デジタルデザイン、3Dプリンティングを応用した「クリアインデックステクニク」により、治療精度・効率が飛躍的に向上しました。

現在、徳島大学病院にて臨床研究を実施中で、患者参加による臨床研究が進行しています。

さらに、令和5年に設立された徳島大学発ベンチャー「株式会社 amidex」が令和6年から「クリアインデックステクニク」に基づく治療サービスを開始し、既に全国 250 歯科医院で導入、250 症例以上の実績を重ねています。

今後は、国内での普及に加え、欧米やアジア諸国での展開も視野に入れており、低侵襲で審美的な歯科治療を世界に広めることで、健康寿命の延伸と国際的な歯科医療の発展に寄与することが期待されます。

お問い合わせ先

徳島大学病院むし歯科 診療科長／

大学院医歯薬学研究部歯学域口腔科学部門

歯科保存学分野 教授

保坂 啓一

電話番号 088-633-7339

メールアドレス hosaka@tokushima-u.ac.jp